えんちょう先生の わくわくだより

NO. 21　　11／2



一足先に楽しんだ岩村こども園のハロウインでした。

昨今の新聞のニュースを見ても、何だかおかしな事件が相次いでいますね。知らぬ間にこどもが消えた．何でもないのに通りがかりの人をバットでなぐった．ストーカーのあげくに殺した・・
地震や洪水等自然災害に加えて、この世の中、どうなってしまうのか？と。今は、物はあふれているけれど、人と人とのつながりが希薄になり、人の痛みを感じ取れなくなっていると言われています。長い間、この仕事をして来た私がこどもの遊びを見ていても、言葉を交わしながら遊ぶという場面がとても少ない気がします。何か声は出しているのだけれど、それぞれに思いついた言葉を発して動き回っている。もっと、こども達を言葉を使ってつなげていく丁寧な作業が今とても大事の様な気がします。今年度の砂場での遊びに対する取り組みでもそうですが、生活のあらゆる場面でゆっくり、こどもに思いを出させ、それに応えたり、共感していくような保育の取り組みがとても大事なのです。前回の幼児教育研究会の園内研では、「こどもの非認知能力をどう育てるか？」について職員で勉強をし合いました。英語や数字で図れるような学力でなく、安定して自分を発揮する力、常に正確さやスピードを求められ不安になるのではなく、こどもが安気に自分を出せる安心感の中でこそ頑張る力や他者との関係を上手に築いていく力も生まれます。お家の皆さんも、日々忙しい中で、一生懸命にこどもを育てて下さっています。私達職員も、園の中での取り組みをみんなで話し合い、頑張っている所です。いつかは親から離れて自立していくだろうこども達が、生涯幸せな生活を築ける様に、お家の皆さんと一緒に今を大事にしていきましょう。

保育の中から・・

１０／２８
今にも雨が落ちそうな中、下の畑に向かった年中組のこども達。来年度、年長組になった時のわくわくチビッ子祭りに使うたまねぎ植えの畑準備です。先生に教えて貰いながら、草かき機を一人一本ずつ持って、まずは草取りから始めましたが、畑がカチカチで大変。その後は、杉本先生が、ミニ耕運機を使って起こしてくれました。終りがけに降ってきた雨に部屋に駆け込んできたこども達。
園長「みんなご苦労さん、えらかったね」
H 保育士「先生、みんながんばったに」「いい畑になったよ」
Y 保育士「草かき機も上手につかったに～」
園長「みんなえらかったで、ちょっとゆっくり休んでや」とこども達に声を掛けると
R ちゃん「園長先生、ありがとう」
と直立不動でぺこりと頭をさげる R ちゃんが、なんて可愛かったか・・・
年中組さんよく頑張りました。

劇遊びの練習も始まったよ！



「オオカミさん今何時？」

オオカミの「夜中の十二時！」の掛け声に「キャー」と自分の家に逃げ帰るこども達。「三時」「一時」には「あ～よかった」とほっとするしぐさで遊ぶみんなだったね。大きな声を出して、逃げ回るこんな遊びが大事！ちよっと転がった位では泣かないぞ！みんな一緒の楽しいあそびがこどもを育てます。年少さんも逞しくなりました。



お知らせ

園服が変わります

岩村町のエコーさんで５０数年に渡ってお世話になってきた現在のこどもの園服ですが、岩村の園の為だけに布を染めて作って頂いて来たようです。そうした事が今後、出来なくなってしまうと言う事で、今回、持って来て頂いた何枚かの園服を運営委員会の際、運営委員さんや、保護者会役員さんにもご検討を頂き、来年度からの園服を決めさせて頂きました。紺色のシンプルな形がいいと思います。又、小さい子がぼたんの練習をするのにも今の園服と同じ大きさのボタンがついています。引き続き、エコーさんでお世話になりますので、ご了承下さい。何年かは、二種類の園服が混じって行きますが宜しくお願いしますね。エコーさんには、現在の園服もまだ在庫があるそうなので、現園児の中で、着替えがほしい方は、来て下さいとの事でした。よろしくお願い致します。



こだまでしょうか

「あそぼ」っていうと
「あそぼ」っていう
「ばか」っていうと
「ばか」っていう
「もう遊ばない」っていうと
「もう遊ばない」っていう
そうして、あとで
さみしくなって、
「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていう
こだまでしょうか
いいえ　だれでも

金子　みすず